

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年6月25日
【事業年度】	第41期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
【会社名】	株式会社カクヤスグループ
【英訳名】	Kakuyasu Group Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 前垣内 洋行
【本店の所在の場所】	東京都北区豊島二丁目3番1号
【電話番号】	03 - 5902 - 3599（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 松木 剛
【最寄りの連絡場所】	東京都北区豊島二丁目3番1号
【電話番号】	03 - 5959 - 3088
【事務連絡者氏名】	執行役員 松木 剛
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年6月26日に提出しました第41期（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものではありません。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

4 コーポレート・ガバナンスの状況等

(5) 株式の保有状況

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(リース取引関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

4【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(5)【株式の保有状況】

(訂正前)

<省略>

八．特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報
特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、業務提携等の概要、 定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の 株式の 保有の 有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
<省略>				
株式会社エー・ ピーホールディン グス	109	-	(保有目的)重要な営業取引先として一層の関 係強化を進め、当社の業容拡大と中長期的な企 業価値の向上を図っていく必要があるため。 (定量的な保有効果)保有の経済合理性は、同 社向けの売上高やシナジー効果、投資回収期間 を想定し、取締役会での決議を経て確認して おります。 (株式数が増加した理由)2023年3月1日に払 込を完了しました。	無
	81	-		
<省略>				

(訂正後)

<省略>

八．特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報
特定投資株式

銘柄	当事業年度	前事業年度	保有目的、業務提携等の概要、 定量的な保有効果 及び株式数が増加した理由	当社の 株式の 保有の 有無
	株式数(株)	株式数(株)		
	貸借対照表計上額 (百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)		
<省略>				
株式会社エー・ ピーホールディン グス	109,900	-	(保有目的)重要な営業取引先として一層の関 係強化を進め、当社の業容拡大と中長期的な企 業価値の向上を図っていく必要があるため。 (定量的な保有効果)保有の経済合理性は、同 社向けの売上高やシナジー効果、投資回収期間 を想定し、取締役会での決議を経て確認して おります。 (株式数が増加した理由)2023年3月1日に払 込を完了しました。	無
	81	-		
<省略>				

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(リース取引関係)

(訂正前)

<省略>

2.オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

	前連結会計年度(2022年3月31日)	当連結会計年度(2023年3月31日)
1年内	211	284
1年超	440	648
合計	652	933

(訂正後)

<省略>

2.オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

	前連結会計年度(2022年3月31日)	当連結会計年度(2023年3月31日)
1年内	842	954
1年超	2,039	1,836
合計	2,881	2,791